流通最前線

野球グローブ通じSDGsを

”サーキュラーエコノミー”確立へ「野球グローブ再生工房」展開

世界規模でSDGsが推進され、多くの企業が何らかの取り組みを始めている。そうした中で、グローバルポーターズ（東京、米沢谷友広代表取締役）は、野球グローブを通じた“サーキュラーエコノミー”を確立するため事業展開し、2店舗目となる「野球グローブ再生工房Re-Birth二子玉川店」をオープンした。「野球に関するトレンドを発信するベースボールラボ構想」を実現する旗艦店とも位置づけており、多くの野球人の憩いの場を創り、情報を発信していくという。

近年、野球人口は減少傾向にあるが、野球連盟等の登録者および未登録の草野球人口は約3000万人存在し、毎年流通しているグローブは約100万個と言われている。グローブの多くは良質な天然皮革（主に牛革）を使用しているが、米沢谷友広代表は「私たちは貴重な再生可能資源と考えるとともに、グローブの販売価格が年々上昇しているとともにプレイヤーのみで廃棄されるケースが非常に多い」と危機感を示す。

さらに、野球用品としての歴史も指摘。「原材料や生産国の人件費高騰にともない、グローブの販売価格が年々上昇しているとともにプレイヤーの手の届きにくくなっていることも野球用品としての課題と考えている（米沢谷氏）」という。

そうした市場環境を踏まえて構想したのが、野球グローブを通じた“サーキュラーエコノミー”。使用済みや休眠中のグローブが廃棄される前に編み、高度な加工技術で高品質かつ低価格なグローブに再生し、未来のプレイヤーにつないでいくというもの。

“サーキュラーエコノミー”を野球用品業界の新しい文化として醸成していくことで、野球人口の増加に貢献するとともに、地球環境にやさしい持続可能な「未来の野球界」を創造していく考え。

グローブ再生技術を高かして、愛着あるグローブを長く使えるように、破れや補強など修理全般に加え、スポーツ店が断るような平裏・指袋の総交換やオーバーホールも受け付け。「修理サービスを追求していくことも、サステナブルな野球界の実現やSDGsの達成につながっていくものと考えている」（米沢谷氏）という。

同社は、2020年2月から野球グローブ循環型サービス、「Re-Birth」をオンラインで展開。「買取は想定以下だが、修理と再生グローブの販売は想定以上で全国から受注がある。高校球児と草野球層が中心」（米沢谷氏）。その実績を踏まえ、2021年1月、東京・蒲田に野球グローブの買取・再生・リメイクに特化した「野球グローブ再生工房Re-Birth」をオープンした。

「蒲田は川崎市隣接で、大田区は野球人口が23区で最も多いと言われながら野球専門店が無いターミナル駅だった」（米沢谷氏）のが理由で、「修理とリメイクが想定を大幅に上回る受注で、買取もオンラインを上回っている」（米沢谷氏）という。

そして4月23日、都内2店舗目として「野球グローブ再生工房Re-Birth二子玉川店」をオープンしたもの。蒲田と同様、野球が盛んなエリアながら近隣に野球専門店が無いターミナル駅。加えて、「街の成長や連動能力向上につながる最新コンテンツも提供していく考え。

野球書籍のみを販売する「野球書店」とのコラボレーションも注目。現在、書店関係者「新しい店舗に並ぶ野球関連書籍は月間50冊程度と言われているが、そうした野球カテゴリーのみを扱うオンライン書籍サイト「野球書店」とタッグを組み、“野球書店大賞”を受賞したタイトルがこの場で続めるコーナーを展開する。

加えて、プロトレーナーや管理栄養士によるトレーニング&コンディショニング勉強会なども企画し、子どもたちの発育より、子どもたちの発育や運動能力向上につながる最新コンテンツも提供していく考え。

今後は出版イベントや著名ライターを招いての配信イベントなども実施していくという。

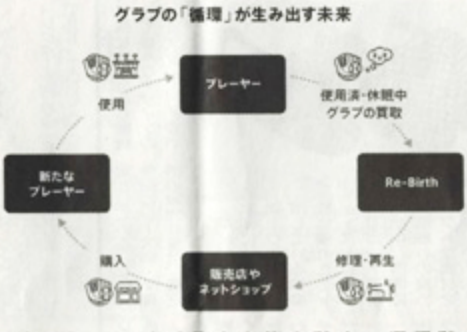
地域密着・団体・チームと連携した出張修理・買取サービスの展開も同店なさそは。世田谷・玉川周辺の地域に根付いたバッティングセンターや中小企業など地元団体とも連携した出張修理・買取サービスやグローブに関する悩み相談会のほか、書籍から情報を収集し伸び伸び体験会、グローブ再生体験会など、様々なニーズに沿ったサービス展開を企画している。

米沢谷代表は「やはり高品質低価格な再生グローブの販売と、グローブを長く使うための修理技術に特化したRe-Birth業態は、お客様に新しい価値を提供できていると感じている。同時にSDGsの推進ができ、今後も熱い気持ちを持って社会に貢献していきたい」と話し、「今後も野球が盛んなエリアで、かつ野球専門店が無いターミナル駅を中心に出店を計画していく」と意気込みを示した。

夏休みには親子グローブ作り体験会、グローブ再生体験会など、様々なニーズに沿ったサービス展開を企画している。

「Re-Birth二子玉川店」の動向も注目

二子玉川に旗艦店出店 ベースボールラボ構想



SDGsに貢献する“サーキュラーエコノミー”